

平成 29 年度 受託講座 開催案内

「心と体の健康講座」シリーズ 体内時計と健康

人間には体温や血圧が上下したり、ホルモンの分泌量が変化するなどの日内変動があります。心筋梗塞や狭心症が朝や夕方、月曜日、1ヶ月の第1週目そして冬に多いのです。この原因に体内時計、時計遺伝子があります。

夜遅い食事は肥満の原因になると言われています、健康維持には「いつどう食べるか」が大切です。近年体内で栄養素の代謝などのリズムを司る体内時計のメカニズムが分かり、食事摂取の関係を解説します。



第 1 回目

11 月 25 日 (土) 午後 2 時 ~ 4 時
健康な脳を維持する仕組み
~ 時間生物学 ~

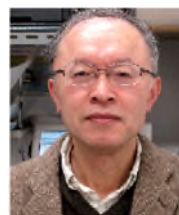


講師 : 石田直理雄氏 氏
公益財団法人 国際科学振興財団
時間生物学研究所長

著書 『きちんとわかる時計遺伝子』
『時間生物学事典』

第 2 回目

12 月 2 日 (土) 午後 2 時 ~ 4 時
体内時計と食事摂取の関係
~ 時間栄養学 ~



講師 : 柴田 重信 氏
早稲田大学 先進理工学部 教授

著書 『体内時計の科学と産業応用』
『時間栄養学—時計遺伝子と食事のリズム』

講座運営スタッフ募集

申し込みは、あだち区民大学塾事務局へ
電話・FAX 03-5813-3759(平日午後 1 時 ~ 5 時)
E-Mail : shinohdy@s2.wh.qit.ne.jp
講座運営スタッフへの参加をお待ちします。
(ボランティア活動推進部 篠原英也)

会場 生涯学習センター 5階 研修室 4
対象 16歳以上の方 定員 30 名 (先着)
受講料 1,500 円
申込 生涯学習センターへ TEL, 直接窓口

元商社マンから学ぶ「日本の常識・世界の常識」

ますますグローバル化が進み、海外に出る日本人や日本に来る外国人は今後も増加していくでしょう。各国の常識が異なるのは、価値観や文化が違うので当たり前ですが、少しでも常識の違いを理解することで、より良い相互理解ができるのではないかと思います。長い間、海外生活を体験された元商社マンから日本の常識と世界の常識の違いを学びます。



講師：岡本 徹 氏 東京理科大学非常勤講師

三菱商事株式会社退社後、(株)テクノフレックス勤務

日時：11月2日、9日、16日

毎回 木曜日 午後2時～4時

会場：足立区生涯学習センター 研修室4

講座テーマ：

第1回 「常識」とは ～日本と外国の常識の違い～

第2回 外国人が驚く「常識・非常識」 ～外国人が驚く日本の文化～

第3回 「郷に入っては郷に従え」 ～グローバル社会で世界と共生する日本～

江戸はスゴイ 世界一幸せな人びとの浮世ぐらし



お江戸はここまで楽しく素晴らしい町だったとは！ 浮世絵や版本など江戸人によって描かれた絵画史料をふんだんに盛り込んで、“庶民が主役”の江戸がいかに魅力的で、面白く、スゴイ町だったかを徹底解説します。



講師：堀口茉純さん 江戸文化歴史検定試験一級 お江戸ル・ほーりー 女優

日時：11月5日、26日

毎回 日曜日 午後2時～4時

会場：梅田地域学習センター（エル・ソフィア内）3階 第1学習室

講座テーマ：

第1回 食文化 ～蕎麦、寿司、天麩羅、世界にほこる和食の原点は江戸にあり！～

第2回 娯楽 ～歌舞伎、吉原から寺社参詣まで、八百八町の楽しみ色々～

講座運営スタッフへの参加をお待ちします。
電話・FAX 03-5813-3759（平日午後1時～5時）

E-Mail：shinohdy@s2.wh.git.ne.jp

申し込みは、あだち区民大学塾事務局へ

（ボランティア活動推進部 篠原英也）

平成 29 年度 大学塾開催報告

中世古文書 戦国大名の書状編



7月2・9・8月6日(各日曜日)会場(7月2・9日研修室4 8月6日研修室1)
3回講座で開催された。受講者は延人数96名。応募者は51名(抽選で40名)講師
に高梨真行氏(文化庁文化財部美術学芸課 文化財調査官)を迎えた。

第1回目は古文書で見る村上水軍～海の大名・村上武吉の実力。

第2回目は明智光秀書状～謀反人の実像～

第3回目は伊達政宗書状～独眼竜が持つ数寄者の顔～

村上水軍は、海賊のイメージが強い。南北朝時代以降瀬戸内海の芸予諸島を拠点と
した海の武士団として紹介。中でも厳島・第1次木津河口などの戦いを通して、能島
村上氏の名前は全国に知れ渡り天文～天正期の村上武吉・元吉の時代に最盛期を迎えた。

この時、毛利元就が村上武吉の恩義にありがたいとの書状を出している。切り紙で丁寧に書かれている。
明智光秀の出自は美濃の国の守護代名土岐氏の庶流で明智城を拠点とする武士である。光秀の書状は、きれ
いで素養のあることが伺える。なお、光秀の謀反については諸説あり、書状からは窺い知ることにはできない。

伊達政宗の伊達家は中世鎌倉時代にはイタチ・イタデなどと呼ばれ、江戸時代を通してイダテとダテと混
用今日にいたっている。政宗の実像は一般の豪快な野心家のイメージと専門家の見方はかなり異なる。資料
に掲載した2通の書状の内判形少違候がそのまま送りますの書状は、政宗自筆と考えられる。戦国大名の
数々の書状からその人となりが見えてくる。古文書は推測してひも解いていく面白さがある。先生の話から
古文書に秘められた読み取りの面白さを知ることができた。

受講者からは、・パワーポイントの画像が説明と同時進行でしたので大変わかりやすかった。・内容の充実
した良い講座です。このような講座を引き続きお願いしますなど次回を期待する声が寄せられた。

(今野君江)

四書五経の世界に親しむ

7月12・19(各水曜日)31日(月曜日)の3回講座。述べ受講者119
名。講師に須藤明実氏(漢文学窓『里仁』・全日本家族『論語』の会主宰)
を迎えて実施されました。

なお、テキストとして、先生の著書・漢文学窓『里仁』教科書(250
頁):(講師は平成20年度から「論語講座」開催・過去に持っている方は、
持参)が受講者に配布されました。それとレジュメとして「四書五経」
に親しむ・その他を使用。



第1回目は四書五経とは～「大学」・「中庸」の言葉に学ぶ～ 第2回
目は四書の「孟子」と五経の言葉に学ぶ～性善説・君子豹変・備えあれば患いなし・他～ 第3回目は中国
古代の思想家たちの言葉に学ぶ～性悪説・矛盾・風林火山他～として、それぞれの言葉からその持つ意味を
学びました。四書とは「論語」「大学」「中庸」「孟子」の言葉。五経とは、「易経」「詩経」「書経」「礼記」
「春秋」をいう。「論語」の言葉の中心は孔子であり、「大学」は弟子の曾子・「中庸」は孫である子思子。
その流れを汲む孟子の著作である「孟子」をまとめました。3回目の講義では、資料「中国古代の思想家た
ちの言葉に学ぶ」から12人の古代の思想家たちの孔子の「人の道」孟子の「性善説」荀子の性悪説・管子・
列子・韓非子・墨子・楊子・孫子・呉子・老子・荘子の言葉など。これらの人々の故事名言は、今日、なお、
私達の糧となっています。最後に先生は、「子曰く、人能く道を弘む、道人を弘むるにあらざるなり」孔子
の言葉は私の原点ですと結ばれました。先生の熱のこもった講義は、受講者にも伝わり、○故事名言の出典・
由来がよく分かりました。熱意ある講義に感謝です。○はるか昔の偉人なのにその人間性まで感じられまし
た。○平素「四書五経」なる古文書に接触や内容を理解する機会もなかったので勉強になりました。の声が
寄せられました

(今野君江)

浮世絵で知る「美人画」の魅力



足立区立郷土博物館 浮世絵展「美人画名品選」との協創企画として、8月20日（日）14時～16時に生涯学習センター講堂において開催された。応募者は110名、受講者97名。講師はお江戸ル・ほーりーこと堀口茉純氏と博物館専門員の畑江麻里氏の両氏。

堀口茉純氏からは「浮世絵で知る美人画の魅力」と題して、菱川師宣から奥村正信・鈴木春信・鳥居清長・喜多川歌麿・溪斎英泉・歌川国貞に至る、浮世絵美人画の絵師とその作品が時代を追って紹介された。又、風景画家の印象の強い北斎や広重も美人画を描いていることも紹介された。浮世



絵は男性社会であった江戸で誕生したので、当初は吉原の美人画が多かったが、やがて庶民がモデルとなり、役者絵や風景画に広がっていった。技術的には肉筆画から始まり、黒の一色摺りの版画になり、やがて見当をつけることで多色刷りが実現し、大首絵では毛髪などの細かい表現に対応した彫の技術が進歩し、女性の容姿は八頭身から六頭身へとより写実的な表現に変化し、幕府の規制がかかるとその都度対応してゆくなど、時代に即した浮世絵の作者達の技術的な進歩と工夫が紹介された。明治に入り写真や油絵の影響で浮世絵はすたれてゆくが、逆に海外での浮世絵の評価は上がり、ゴッホもその影響を受けている様子が紹介された。



次に畑江麻里氏から足立区立郷土博物館で開催中の浮世絵展「美人画名品選 春信・歌麿から芳年・周延まで -」（7/29～9/18）の見どころが紹介された。当博物館は松方コレクション413点を核にして浮世絵の収蔵は1,300点に及びその



内今回は89点の美人画が展示されている。第一章 錦絵美人画のはじまり 鈴木春信という流行、第二章 美人画の交流 喜多川歌麿とその影響、第三章 主流になる歌川派美人 初代豊国から国貞・国芳、第四章 明治の美人画 月岡芳年と楊洲周延 の4つの時代区分で作品が紹介された。今回、受講者には足立区郷土博物館の招待券が配布された。

受講者アンケートでは「浮世絵を通して江戸を知るという意味でも、絵師の説明もわかりやすく、予想以上によかったです。」「ほーりーの講義はいつ聞いても楽しいです。畑江さんの声は聞きやすく、説明もよかったです。」「浮世絵の見方が変わりました。ぜひ郷土博物館に行ってみたいです。」など、参加して頂いた方々からは満足の声と共に好評価が得られました。

今回の特別講演会は足立区の推進する協創の趣旨に沿って、足立区・足立区教育委員会・足立区郷土博物館・生涯学習センター・楽学の会の五者共催が初めて実現した。

関係各位のご協力に感謝するとともに、今後も郷土博物館等との協創企画に期待したい。

（糸井史郎）



探ねてみたい「近世江戸」歴史入門講座



9月3・10・17日の各日曜日午後2時～4時に開催された。応募者63名・受講者56名・各回受講者は第1回53名・第2回48名・第3回44名・延べ145名であった。特に第3回は台風18号の影響で中止の可能性もあったが、前日にセンター所長と協議の上、センターの通常営業の方針に従い開催した。講師は古代奈良・中世京都に次いで、今回締めくくりの近世江戸を担当して頂いた大沢正明氏。

第1回「家康から家光へ」は「江戸開府と町のインフラの跡を探る」として、1590年家康の江戸入府以後の道三堀や小名木川掘削・本丸等の改修・千住大橋架橋から日比谷入江の埋立・溜池・外堀・五街道の整備までの五次に渡る天下普請の様子と江戸始図による堅固な5連続柵形が説明された。更に当時世界で最高レベルの江戸の上水道の整備と江戸城新三十六見附が紹介された。第2回「綱吉から吉宗へ」は、「江戸文化の跡を探る」として、相撲・花火・食文化（鮎・そば・てんぷら・うなぎ）・花見・浮世絵の歴史をたどり、最後に北斎の「富岳三十六景」のうち千住の三景（武州千住・従千住花街眺望の不二・隅田川関屋の里）が紹介された。第3回「家斉から慶喜へ」は「幕末動乱の跡をさぐる」として、フェートン号事件からペリー来航・安政の大獄・大政奉還・戊辰戦争・江戸開城まで幕末のクライマックスを、取材に基づく豊富な資料を駆使して説明された。3回を通じ江戸の町づくり・文化・政治体制の転換が写真を中心に時代を追って説明され、わかりやすい説明をして頂いたので、受講者の方の町歩きにとっても参考になる講座であったと思われる。

アンケートの結果は「大変わかりやすく面白い講座でした」「相撲・花火・花見・浮世絵の文化、大変興味深かった」「自分の関心のあることなので楽しくパンフレットを読み返しています。都内の方々、散策しています」など概ね好評であったが、「政事の人物（田沼意次等）のお話を聞きたい」「入門講座からもう一步踏み込んだ講座があれば」という更に詳しい情報を望む声も聴かれた。



（糸井史郎）

みんなの広場

熱帯低気圧の巨大化は地球温暖化による？

この夏は、巨大化したハリケーンや台風が相次いで発生、地球温暖化による影響と考えられます。

温暖化により地球表面の大気や海洋の温度が上昇し、熱帯低気圧が大型化するとされています。まさに、そのような傾向が見られます。大西洋では、大型ハリケーン「ハービー」「イルマ」「マリア」がアメリカ南部やカリブ海の島々を相次いで直撃、甚大な被害を受けています。「イルマ」は5段階で最も勢力の強い「カテゴリー5」に分類され、中心部の風速は約83メートルと、大西洋上で観測されたハリケーンとしては史上最大級とのこと。日本でも台風18号が日本列島を縦断し、大雨による被害が発生しています。



地球温暖化対策は国際的な取り組み、気候変動問題に全世界が対応してもらいたいと思います。

（小林徹）

平成 29 年 9 月 月例会 報告 (9月 15 日) ＜ 会員による活動事例発表

発表者：荻原 芳樹 「楽学の会」に入会して

今日お話しするのは「楽学の会」に入会した理由と入って感じたことなどをお話します。事務局長の江川さんとは小学校の同級生で一昨年に大学塾で講演させて頂いたのがきっかけでこの会に興味がありました。自分は話がうまくなく大変苦労しましたが、今度は講座を受持つ立場としてやってみたいと思い入会しました。

入会して感じたことは講座にそれぞれ興味があり、大変勉強になっています。今まで自分が受けてこなかった事例やお話があり、皆様の講座に対する意気込みが感じられました。私は来年の3月の健康講座を受持つことになり、これから皆様方のご意見を伺いながらやっていきたいと思いました。後は私が今やっているボランティアは傾聴ボランティアと足立男性合唱団をやっています。これからもよろしくお願ひします。



発表者：林 令子 「楽学の会」に入会して



新入会者の発表とのことなので、私が「楽学の会」に入会した動機をお話しします。私は就職してから昨年7月末までの長期間、フルタイムで働き続けた仕事人間でした。医療、福祉、介護関係の仕事でしたが、法人内事業の運営管理を背負って走り続け、深く考える暇もありませんでした。退職後、これからは以下の3つの目標で生きようと決めました。行きたい所へ自由に行き、見たいものを見たい時に見る。何らかのボランティアをやりたい、ただし、今までの仕事からみはやらない。知的な刺激を受けたい、ただし、気楽にやりたい。この3つの目標のうちとに合ったのが「楽学の会」でしたので、入会させていただきました。

入会して感じたことは、会員の皆さんが歳を感じさせない若さとエネルギーで、生き生きと活動されていて頼もしく、知的レベルの高い人たちがばかりで圧倒されたことでした。一方、男社会とはこういうものかと実感しました。女性が増えて女性も強い組織になるのが夢です。会への希望ですが、言いたいことが自由に言える組織でありたいです。強い人の自己主張が強すぎると言えない雰囲気になります。また歳を取ると個性が煮詰まって頑固になり、物忘れも増えます。お互いにフォローとカバーをし合いながら活動していける組織にしたいものです。よりよく生きていくキーワード、1,10,100,1,000,10,000 で健康寿命めざして！

発表者：田中 桂子 会員のための健康講話「よく噛む・よく話す」は生きること



何気なく噛んでいる毎日の食事、健康を考えるならちょっと見直しませんか。そんな思いで“咀嚼判定ガムで噛み方チェック”“あだちっ子せんべい「何回噛めますか」”“あだち ちゅうりっぷ体操”を体験して頂きました。咀嚼ガムでは前歯・奥歯・全体で噛んだ時の噛み心地と唾液の出方、顎の動きを確認しながら噛む場所によって噛み難いこと。一口大のあだちっ子せんべいでは、噛む回数をカウントしながらドロドロになるまで飲み込まず噛んでいただき、噛むことでたくさんの唾液が出ることを体験して頂きました。健康を維持するために大切なのは自分の体を気遣ってあげること。会話を楽しむこと。

しっかり噛むか、噛まないかで、唾液の分泌や胃腸の収縮、蠕動運動などに影響するようです。どんな野菜、肉、魚でも、素材そのものの味があります。よく噛むことで本来の味が唾液が教えてくれます。一口で味が分かり、三口で飲み込める軟らかさにする添加物、乳化剤、合成糊料、着色剤、増粘多糖類などを摂取するより、素材の美味しさをよく噛んで感じ、胃に優しい状態で飲み込む食事こそ健康長寿につながると思います。よく噛むと“食の気”が全身に巡り、細胞や血液を新しくして、若々しくしてくれるようです。日常何気なく食べている食事“噛む”ということを少し意識することで“よく噛む”ことに繋がり心強い健康法が見つかると思います。体は正直に口から入った物で維持しています「病は口から」食べ物を選び、よく噛んで唾液をたくさん出して健康長寿に繋がることを願っています。最後に口のスマイルアップ、あだちちゅうりっぷ体操で締めました。

(ボランティア活動推進部)

8月、9月運営委員会報告

8月運営委員会（8月1日）

1.代表挨拶：報告および提案

・8月となりました。7月は九州北部、島根、新潟、秋田と同地的豪雨で被害が出ています、これは線状降水帯により連続して大量の雨が降る現象で、大きな被害がでました。被災された方にお見舞い申し上げます。一方 関東地方は14日連続の真夏日が続き 猛暑となっています。

最近は戻り梅雨と台風の影響で不順な天気が続いていますが、皆様お元気でしょうか。

・7月14日に月例会・暑気払いが開催され、足立区地域文化課 野坂係長、生涯学習センター平野所長、鳥塚副所長、崎山顧問にご参加頂き、懇親を深めました。多数の会員の出席有難うございました。

・今月はあだち区民大学塾特別講演会「浮世絵で知る美人画の魅力」講座を開催いたします。足立区の新しい「協創」のテーマで日本文化の理解のための「浮世絵」講座を、足立区、足立区教育委員会、郷土博物館、生涯学習センター、楽学の会の5者共催で開催します。8月20日（日）14時よりセンター講堂で開催します。現在 受講申込者は84名です。目標の100名まであと一歩です。皆様の協力でぜひ成功させましょう。

・センター受託事業については「健康心理学」講座は9月～10月夜間に4回講座を開催します。7/25に区の広報に掲載され チラシも配布開始し、受講受付を開始しました。夜間講座ですが皆様の協力をお願いいたします。現在13名の申込があり順調です。

2.議題

(1)情報交換

- ・NPO 法人すみだ学習ガーデンの代表理事交代、高林 真理氏 武本 浩和氏 交流会を考える
- ・平成29年度 足立区公益活動げんき応援事業助成金 応募要領
- ・地域学習センターの施設利用について
- ・意見交換会～ボランティアとNPO～ の開催について

(2)月例会開催について

- ・8月月例会 ナシ 暑気払い報告 22名（顧問1名、区1名、センター2名含む）参加

(3)あだち区民大学塾（検討会議・企画会議・地域協働講座）

- ・「四書五経」応募者49名 第1回45名、第2回38名、第3回36名 受講者計46名
- ・「古文書」応募者51名 7/2(34名)、7/9(32名)、8/6、開催
- ・特別講演会「美人画の魅力」 応募者、8/1現在84名 8/20（日）開催 2時～4時

(4)受託事業について

- ・心と体のバランスを保つための「健康心理学」講座、4回講座 9/21、28、10/12、19 開催 応募者、8/1現在13名

(5)各部局からの報告・その他（省略）

9月運営委員会（9月1日）

1.代表挨拶：報告および提案

・8月20日（日）あだち区民大学塾特別講演会「浮世絵で知る 美人画の魅力」講座が開催されました。今回講座は足立区との協創事業を5月に足立区地域文化課へ企画・提案し、日本文化の区民への理解を図ることを目的に、今回は浮世絵を取り上げ、郷土博物館の浮世絵展と連携した講座を提案し、5者共催で開催しました。

今回の講座で区民へ日本文化、浮世絵の魅力を発信することができた。講師は浮世絵に造詣が深い堀口菜純さんに依頼し、郷土博物館専門員の畑江麻里さんには浮世絵展の見どころを画像で分かり易く解説頂きました。

受講申込者は110名でほぼ定員の97名の受講者があり、受講者からはよい意見を頂きました。受講者の年齢は20代から90代まで幅広い受講者があり目的が達成されたと思います。浮世絵への理解が深まり、郷土博物館の浮世絵展も見に行くとの意見が多かった。皆様のご協力の御蔭で成功しました。御協力有難うございました。

・あだち区民大学塾は順調に開催しており9講座を終了しました。29年度は18講座開催予定です。29年度後期の講座の準備もよろしくお願ひいたします。9月より30年度の講座検討を開始いたします。ぜひ皆様より講座提案をお願いいたします。

・センター受託事業「健康心理学」講座は9月～10月夜間に4回講座を開催します。現在受講申込者は34名と定員を超えています。9月は21日、28日です。夜間講座ですが 皆様のご協力よろしくお願ひいたします。

2.議題

(1)情報交換

- ・NPO フェスティバル 10/1 足立区役所（昼食用意）
- ・あだちサークルフェア 2017 10/7・8 生涯学習センター（昼食用意）
- ・男ボラ イベント紹介（将棋大会）

(2)月例会開催について

- ・9月月例会 9/15 事例発表（会員：荻原、林、田中（桂子）健康講話 各氏）

(3)あだち区民大学塾（検討会議・企画会議）

- ・「近世江戸」9/3 10 17（日）2時～4時開催 応募者63名

(4)受託事業について

- ・「健康心理学」9/21 28 10/12 10/19 7～8時半開催 応募者34名
- 9/15 13:00～スタッフ打合せ
- ・「体内時計」11/25、12/2（9月の区報掲載予定）

(5)各部局からの報告・その他（省略）

生涯学習センター 講座情報

講座名：学びピアコンサート
天高くギターの調べ

日 時：10月29日(日)午後2時～3時30分
(開場午後1時30分)
対 象：16歳以上の方
会 場：生涯学習センター 4階 講堂
入場料：1,000円(一律)
定 員：190名(事前申込先着順)
出 演：稗田 隼人(ギター) 西浦 詩織
(ヴァイオリン) 森 千織(フルート)
内 容：若手ギタリスト稗田隼人がクラシックギターの名曲「アルハンブラの思い出」「禁じられた遊び」「魔笛」「ベネズエラワルツ」など奏でます。懐かしの古賀メロディー、ラテンの「コーヒールンバ」なども演奏。優雅なギターの調べが爽やかな10月の風に乗って流れます。

講座名：平安時代史入門
「平安初・中期の天皇・貴族」

日 時：11月4日・11日・25日 各土曜日
午前10時～正午
対 象：16歳以上の方
会 場：生涯学習センター 5階 研修室3
受講料：3,000円(一般) 2,100円(70歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方)
定 員：30名(事前申込先着順)
講 師：荒木 敏夫氏(専修大学文学部名誉教授)
内 容：桓武天皇没後の平安時代の国制の変化は、「摂関体制」確立の途と理解されてきました。しかし、この時代の実相は、それほど単純ではありません。この講座では、「伴大納言絵巻」のような美術作品や「大鏡」「栄華物語」など文学作品も紹介しながら、平安初・中期の「王権論」という新しい切り口から探ってみます。

申し込みは、生涯学習センターへ
電話(03-5813-3730)または直接窓口へ

11月「月例会」のご案内

11月の月例会は次の通りです。
よろしくお願ひします。

日 時：11月17日(金)午前9時～午後5時
集合場所：常磐線 北千住駅
内 容：「国営昭和記念公園と

昭和天皇記念館を訪れる」

秋の一日、会員の親睦ハイキングに参加しませんか？
別途 計画作成し、参加者を募集します。
皆様の積極的な参加をお待ちしています。
(ボランティア活動推進部)

楽学インフォメーション 会合のお知らせ

運営委員会

10月 2日(月) 午後3時～5時 研修室4
月例会
10月12日(木) 午後3時半～5時 研修室4
学習支援部
10月 5日(木) 午後2時～4時 ワークルーム
ボランティア活動推進部
10月 6日(金) 午後2時～4時 ワークルーム
広報部
10月11日(水) 午後2時～4時 メール会議
10月23日(月) 午後2時～4時 ワークルーム
10月26日(木) 午後2時～4時 ワークルーム
事務局
10月 3日(火) 午後2時～4時 ニュース発送
10月10日(火) 午後2時～4時 ワークルーム
大学塾講座検討会議
10月12日(木) 午後2時～3時半 研修室4
大学塾講座企画会議
10月 2日(月) 午後1時半～3時 研修室4
生涯学習センター 休館日
10月16日(月)

お問い合わせ＆ご意見等

「楽学の会」の運営に関するお問合せ

事務局 江川武男 電話:090-3105-8140

E-Mail: takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp

「ホームページ」に関するお問合せ

広報部 神戸 明 電話:03-3606-0058

E-Mail: a-kambe@jcom.zaq.ne.jp

編集後記

楽学ニュース233号をお届けいたします。台風の季節が終わったのか、秋らしい季節になりました。今回は8月が休刊であったため報告事項が多く、8ページの構成となりました。夏も過ぎ去り、各種のイベントがこれから多くなります。会員皆さんの積極的な参加と様々な情報の提供をお待ちします。



千住地区
「元宿神社
例大祭」